

報道機関各位

安全環境部廃棄物対策課
 リサイクル推進室
 担当者 小林室長、前田総括主任
 0776-20-0382

一般廃棄物（ごみ）の排出および処理状況（平成19年度速報）について

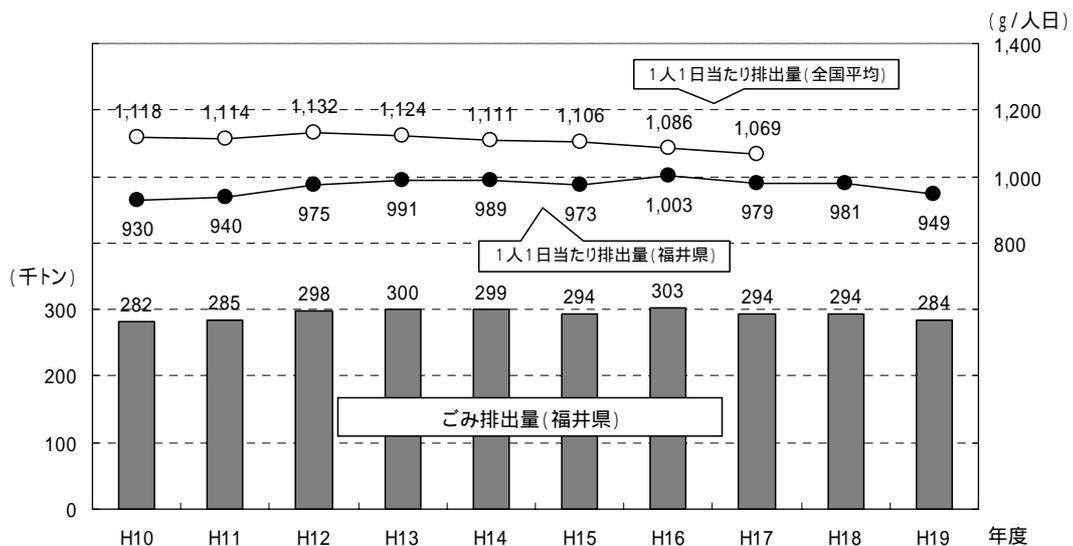
平成19年度における福井県の一般廃棄物（ごみ）の排出および処理状況を調査し、その結果を取りまとめましたのでお知らせします。

1 ごみ排出量

平成19年度におけるごみ排出量^(注1)は28万4千トン、1人1日当たりごみ排出量は949グラムであり、前年度と比較すると、ごみ排出量は1万トン減少しており、1人1日当たりごみ排出量は32グラム減少しています。

主な減少要因は、次のとおり。

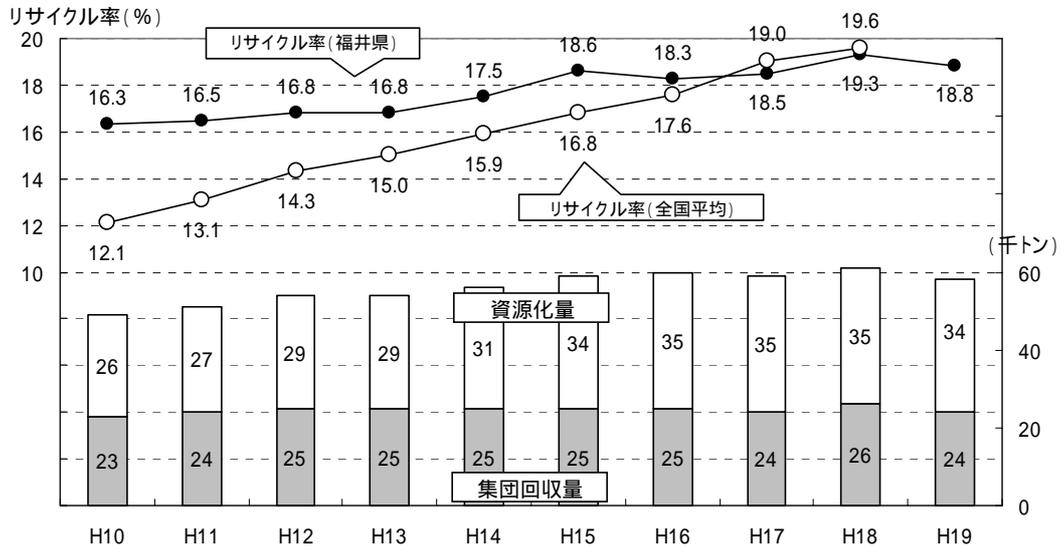
- ・可燃ごみ用に透明な指定袋を導入（鯖江市）
- ・自治会に対して分別徹底のための説明会の開催（福井市、鯖江市）
- ・プラスチック製容器包装の分別品目拡大による説明会の開催（坂井市）



注1:「ごみ排出量」には、市町が補助金等を交付し、PTAなどの市民団体が収集した集団回収によるものは含まれていない。

2 リサイクル率

平成 19 年度における総資源化量^(注2)は 5 万 8 千トン、リサイクル率^(注3)は 18.8%であり、前年度と比較すると総資源化量は 3.3 千トン減少、リサイクル率は 0.5 ポイント減少しています。



注 2 : 総資源化量 = 資源化量 + 集団回収量

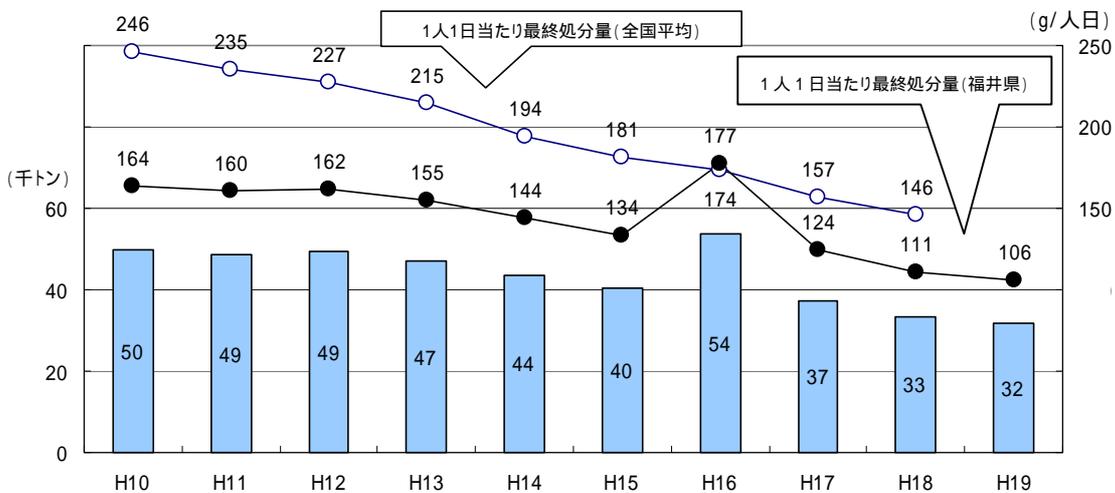
「資源化量」とは、市町のごみ処理施設等においてリサイクルされたごみの量である。

「集団回収量」とは、市町が補助金等を交付し、PTA などの市民団体が収集した新聞紙等のごみの量である。

注 3 : リサイクル率 (%) = 総資源化量 / (ごみ処理量 + 集団回収量) × 100

3 最終処分量

平成 19 年度における最終処分量^(注4)は 3 万 2 千トン、1 人 1 日当たり最終処分量は 106 グラムであり、前年度と比較すると 1.7 千トン減少し、1 人 1 日当たり最終処分量は 5 グラム減少しています。



注 4 : 最終処分量とは、焼却灰や不燃ごみなど埋め立てられたごみの量である。